

令和6年藤袴祭連携企画

特別ツアー  
くろ谷  
藤袴



非公開建物・庭園を専門家がご案内



2024年 10月5日 土 / 10月6日 日

[共催]  
くろ谷金戒光明寺  
植彌加藤造園株式会社  
源氏藤袴会

時間：13:00 - 15:00  
定員：各日30名  
参加費：6,000円

浄土宗の大本山、くろ谷金戒光明寺。

平安時代承安5(1175)年、開祖である法然上人が比叡山の黒谷を下り、草庵を結ばれたのが浄土宗最初の寺院のはじまりです。

西山連峰、黒谷の西2キロの京都御所、西10キロの小倉山を眺み、今日でも山門、阿弥陀堂、本堂などの他、18もの塔頭寺院が建ち並びます。また幕末には京都守護職会津藩一千名の本陣、新選組発祥の地となり、歴史の大舞台となりました。

そして金戒光明寺では、平安時代から愛されてきた「京都絶命寸前種 藤袴(フジバカマ)」を、数年前から保全・育成しております。\*

藤袴は秋の七草の一つで、枝の先に淡紅紫色の小さな花を咲かせる可憐な花です。桜餅のようなさわやかな甘い香りで、平安貴族はこの匂袋を身につけ香りをまどっていました。

本ツアーではお寺の方から法話をお聞かせいただいた後、通常非公開の「建物・南庭・紫雲の庭」を庭園管理を務める植彌加藤造園の庭園コンシェルジュがご案内いたします。また静かな庭園の中で風に揺れる藤袴の花を愛でながら、日頃保全活動に尽力している源氏藤袴会から藤袴の話をお聞き、藤袴の香りもゆつくりとお楽しみいただけます。

平安時代、法然上人が歩んできた比叡山からくろ谷さんへの道。

今、同じように比叡山から藤袴の蜜を吸う「旅する蝶アサギマダラ」が降りてきます。

あなたにもご縁があり、優雅に飛び交うアサギマダラに会えるかもしれません。

この時期にかか見れない・会えない特別な金戒光明寺を楽しみにお越しください。

\*京都に自生する藤袴(京都固有種、絶滅寸前種とされる大原野原種の藤袴)の保全・育成を行っている源氏藤袴会より挿し芽を譲り受け育成。

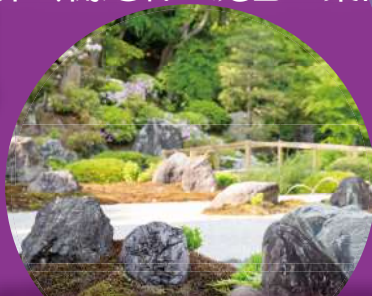
### お寺の方による法話



浄土宗大本山くろ谷金戒光明寺。重要文化財である吉備観音様も安置されている御影堂にて、執事長橋本周現師よりご法話をお聞かせいただけます。



### 非公開建物・庭園ご案内



京都守護職・会津藩主松平公本陣旧跡であり歴史深い建物。"謁見の間"や仕掛け絵の部屋、そして四つの庭園を庭園コンシェルジュが特別にご案内いたします。



### 源氏藤袴会によるご案内



育成中の藤袴をご覧いただきながら藤袴や会の活動を紹介させていただきます。また藤袴のさわやかな香りを一人一人にご体験いただけます。



お土産付



一例

1日目 : 10月5日(土) 13:00-15:00  
 2日目 : 10月6日(日) 13:00-15:00  
 定員 : 各日 30名  
 参加費 : 6,000円\*1  
 集合場所 : 浄土宗大本山くろ谷 金戒光明寺 御影堂前  
 〒606-8331 京都市左京区黒谷町121  
 申込方法 : 予約専用サイトにて受付中  
 (クレジット決済/現地現金支払い)



ご予約・お問合せはこちら

\*1 非公開建物・庭園散策、御志納、くろ谷オリジナルグッズ、植彌オリジナル手ぬぐい、源氏藤袴会オリジナルグッズ、藤袴香料金を含みます。\*2 お問合せは上記リンク先のお問合せフォームでお受けしております。緊急連絡・インターネット回線をお持ちでない方のみ下記へお電話ください。\*3 靴下をご着用ください。建物⇄庭園では靴の脱ぎ履きがあります。\*4 当日無断キャンセルの場合、サービス料金の100%キャンセル料金が発生します。 緊急連絡先：源氏藤袴会 馬場 075-241-2084